

報道関係者各位

2026 年 8 月 28 日

株式会社東京コンサルティンググループ

3 か月で 800 万円を失った海外進出、その失敗から 26 か国へ

東京コンサルティンググループ 久野康成が「エコノミスト未来賞 2026」受賞

理念を仕組みに変え、世界で再現

世界 26 か国 34 拠点で日本企業の海外進出を支援する東京コンサルティンググループ（中核会社：株式会社東京コンサルティングファーム、本社：東京都新宿区）は、取締役会長の久野康成が「エコノミスト未来賞 2026」（主催：エコノミスト未来賞 2026 実行委員会、後援：毎日新聞出版株式会社）のグローバル挑戦部門を受賞したことをお知らせいたします。

同賞は 171 社のノミネートから 6 部門・20 名が選出されるアワードで、グローバル挑戦部門では 3 名が選出されました。久野は、海外展開の実績に加え、理念を人材育成や組織運営の仕組みに落とし込み、世界で活躍する人材と組織をつくってきたことが評価されました。その海外展開は、2006 年の中国進出でわずか 3 か月・800 万円の損失を出して撤退したところから始まっています。2026 年 8 月 26 日に行われた授賞式のスピーチでは、国内市場の縮小に直面する中小企業に対し、「グローバル展開」「地域密着」「何もしない」という 3 つの道を示し、経営者にはいま決断することが求められていると訴えました。



2026 年 8 月 26 日、The Garden Room（東京都目黒区三田）で開かれた授賞式。前列中央が久野康成

■ 理念を掲げるだけで終わらせず、仕組みで再現したことが評価された

同グループが育てているのは、単に仕事が「できる人」ではなく、相手の立場に立ち、周囲や社会のために行動できる人材です。海外では、国籍や文化、商習慣などが異なる中で組織をつくる必要があります。理念を言葉だけで終わらせず、人材育成や組織運営の仕組みに落とし込むことで、それぞれの拠点で共通する価値観を持って人材を育て、組織を運営できる仕組みを築いてきました。

特定の個人の経験や能力に依存するのではなく、国や文化が変わっても理念を人と組織の行動として実践できること。その再現性が、次世代の企業が目指すべき一つの形として評価されました。

■ 3 か月で 800 万円を失った海外進出 この失敗が 26 か国展開の出発点

初めて海外へ進出したのは 2006 年の中国でした。しかし、わずか 3 か月で 800 万円の損失を出して撤退。すでに競合が多い市場に後発で参入したことが、その要因の一つでした。

この経験から、海外進出では市場規模だけを見るのではなく、「自分たちが先行者になれるか」を重視するようになりました。翌 2007 年にはインド・デリーへ進出。日本で最初の独立系会計事務所として拠点を開設しました。その後、タイ、ベトナム、インドネシアなどへ展開を広げ、現在は世界 26 か国 34 拠点、グループ従業員 357 名の体制となっています。

■ 授賞式スピーチ「中小企業に残された 3 つの道」

授賞式で久野は、中小企業がこれから取りうる方向性は 3 つしかないと述べました。

1. グローバル展開：先行者利益を狙う

海外へ進出し、競合が少ない市場で先行者利益を狙う道です。海外進出は、競争が激しくなってからではなく、早い段階で動くことが重要だと指摘しました。

2. 地域密着：残存者利益を狙う

海外へ出ず、国内の地域市場で事業を続ける道です。人口減少によって市場が縮小するなか、地域で選ばれる続けるためには、他社との差別化が不可欠となります。

3. 何もしない「座して死を待つ」

そして、現状を変えず何もしないという選択。授賞式では、この選択を「座して死を待つ」と表現し、「これが大半の中小企業ではないか」と問題を提起しました。

そのうえで、3 つの道のなかでもグローバル展開を推奨。自身の海外進出の経験を踏まえ、変化を待つのではなく、早い段階で決断することの重要性を訴えました。

■ 久野康成 取締役会長 コメント



「20 年前、私は海外に出るのが遅れて失敗しました。中国に出た 3 か月で 800 万円を失い、撤退しています。そこで学んだのは、市場の大きさではなく、自分たちが先行者になれるかどうかで進出先を選ぶということでした。翌年インドへ出たのは、その判断です。海外で組織をつくるとき、最後に効いてくるのは仕組みだけではありません。人が育つかどうかです。私たちは、能力の高い人を集めるのではなく、人のために動ける人を育てることに時間をかけてきました。今回の受賞は、その積み重ねを見ていただけた結果だと受け止めています」

取締役会長

久野 康成

■ エコノミスト未来賞とは

社会や産業の変化を捉え、新たな価値の創出に挑む企業・経営者を称えるアワードです。革新的な技術やサービス、持続可能な取り組み、社会課題の解決に向けた挑戦などを多角的に評価し、その成果とビジョンを広く発信します。2026 年は 171 社のノミネート企業から、6 部門 20 名が受賞しました。

主催：エコノミスト未来賞 2026 実行委員会 / 後援：毎日新聞出版株式会社

■ 会社概要

社名：株式会社東京コンサルティンググループ（中核会社：株式会社東京コンサルティングファーム）

所在地：〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-5-3 AM ビルディング 7 階

創業：1998 年 / 取締役会長：久野康成（公認会計士・税理士）

グループ従業員数：357 名 / 海外展開：26 か国 34 拠点 / 顧問契約：935 社

事業内容：海外進出コンサルティング、国際会計税務、クロスボーダーM&A、国内経営コンサルティング、人材コンサルティング、AI・DX 支援

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社東京コンサルティンググループ 広報担当 佐野立樹

TEL：03-5369-2930 / mail：ns@tokyoconsultinggroup.com

Web サイト：<https://kuno-cpa.co.jp/>